第24回　京都フランス音楽アカデミー　受講申込書

受講申込書は、右記アドレスからもダウンロードできます。 www.academie.ifjk.jp

氏名 ローマ字	性 別 男 女	生年月日 19　　年　　月　　日（　　才）
現住所 Tel　　Fax E-mail（必須）		審査結果の通知先（現住所と異なる場合） Tel　　Fax E-mail（必須）
学校名および学年、または出身学校名および職業		宿泊予約 ☐ 希望する　☐ 希望しない
受講希望科目（弦楽室内楽クラス受講希望の方は、担当楽器も記入してください。 作曲クラス聴講希望の方は、希望科目名の横に聴講希望と記入してください。）		エリック・タンギー教授による現代音楽ワークショップへの参加 ☐ 希望する　☐ 希望しない
希望教授（ピアノとヴァイオリンの受講を希望する方のみご記入ください） 第1希望 第2希望 第3希望（ヴァイオリンのみ）		過去にマスタークラスに参加したことのある方は、そのマスタークラス名
音楽歴（学歴、演奏活動歴など）		受賞歴（コンクールなど）
これまでの指導者名、および現在の指導者名		京都フランス音楽アカデミー受講を希望する理由

※受講申込書でご提供いただいた個人情報は、当アカデミーの事務手続きおよび案内状送付のみに使用します。個人情報は、ご同意なく第三者に開示・提供・預託することはありません。
※音楽歴と受賞歴は、別紙（書式自由、A4サイズ）に記載して添付してもかまいません。

ご 案 内

公開レッスン　2014年3月29日（土）、30日（日）

アカデミーの授業は非公開であるため、期間中に各教授1回90分の公開レッスンを全クラス行います。

会　場　：　アンスティチュ・フランセ関西 稲畑ホール
聴講料　：　2,000円（1科目1教授につき）、7,000円（1日通し券）
聴講券　：　2014年1月下旬発売予定　※受講生は入場無料

作曲クラス作品試演会　2014年3月31日（月）

作曲クラス受講生がマスタークラス期間中に仕上げた作品を、演奏家が試演します。

会　場　：　アンスティチュ・フランセ関西 稲畑ホール
入場料　：　無料

受講生コンサート　2014年4月1日（火）

各クラスから選ばれた優秀受講生（1クラス平均2名）のコンサートを開催します。

会　場　：　京都市立京都堀川音楽高等学校 ホール
入場料　：　無料

第24回 京都フランス音楽アカデミー アンサンブル・スペシャル・コンサート2014　2014年3月28日（金）19時

アカデミーに招聘された教授陣によるコンサート。※受講生は無料でご招待

会　場　：　京都府立府民ホール“アルティ”
入場料　：　4,000円（一般）、3,000円（学生）
協　力　：　エラート音楽事務所（Tel. 075-751-0617）
チケット　：　2014年1月上旬発売予定

お問合せ・お申し込み先　京都フランス音楽アカデミー実行委員会事務局

Tel. 075-761-2114（火～土 10:00～18:00、日・月・祝休）　|　Fax. 075-761-2169　|　Mail. academie@institutfrancais.jp

〒606-8301　京都市左京区吉田泉殿町8 アンスティチュ・フランセ関西

名誉会長　クリスチャン・マセ（駐日フランス大使）　実行委員長　シャルランリ・プロソー（在京都フランス総領事、アンスティチュ・フランセ関西館長）

INSTITUT FRANÇAIS
アンスティチュ・フランセ関西
JAPON - KANSAI

第24回 京都フランス音楽アカデミー 受講生募集

ACADÉMIE DE MUSIQUE FRANÇAISE DE KYOTO

トップクラスの教授陣による指導で
あなたの音楽技術と感性を高めませんか。

2014年3月20日（木）- 4月1日（火）

（3月28日（金）は教授陣によるコンサートのため休講）

応募締切 | 2013年12月17日（火） ※必着

主催：京都フランス音楽アカデミー実行委員会
後援：京都市、在日フランス大使館
助成：公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーション
協賛：稲畑産業株式会社、バウエル・フルート・ジャパン、株式会社ビュッフェ・グループ・ジャパン、プジョー・シトロエン・ジャポン株式会社、Les Harpes Camac、SACEM（フランス著作権協会）
協力：華頂女子高等学校、京都女子大学、京都ハープファクトリー、ホテル日航プリンセス京都
教育提携：パリ・エコール・ノルマル音楽院

お問合せ：京都フランス音楽アカデミー実行委員会事務局　〒606-8301 京都市左京区吉田泉殿町8 アンスティチュ・フランセ関西
Tel. 075-761-2114　Fax. 075-761-2169　academie@institutfrancais.jp　www.academie.ifjk.jp

マスタークラス

募集人数 ｜ 各クラス12名＋ 4グループ ＋ 作曲クラス聴講生10名

京都フランス音楽アカデミーは、フランス政府公式機関であるアンスティチュ・フランセ関西（関西日仏学館）が主体となって1990年より運営されている日仏音楽交流事業です。毎春、フランスよりトップクラスの音楽家が来日し、約2週間のマスタークラスを開講。その規模、歴史、水準の高さから、フランス国外で行われる最も重要なフランス音楽教育の場となっています。

声楽・ピアノ・弦楽器・管楽器クラス

レッスンはすべてマンツーマンで行われます。課題曲は設けず、各受講生の希望する曲を指導。各受講生は、期間中5回の個人レッスン（1回約1時間）を受講します。

フランス音楽留学　スカラシップ（奨学制度）

長期フランス音楽留学のチャンスに挑戦してみませんか。

パリ・エコール・ノルマル音楽院　スカラシップ

ピアノ・声楽・フルート・弦楽器クラス　優秀受講生より最大3名

— 著名な音楽家が名をつらねる、伝統校への留学 —

2004年より、京都フランス音楽アカデミーはパリ・エコール・ノルマル音楽院と教育提携しています。アカデミーのピアノ、声楽、フルート、弦楽器クラスの優秀生にはパリ・エコール・ノルマル音楽院への留学の道が開かれています。スカラシップ対象者は、秋より1年間の授業に参加するための入学金と授業料が免除されます。

※入学手続きは同音楽院の規定に従って行っていただきます。別途諸費用はご自身での負担となります。

作曲クラス

3回の個人レッスン（1回約1時間）と、現代音楽の主要な作品や教授自身の作曲技法に関する2回の合同講義（1回約2時間）および試演会に向けてのリハーサル。

※個人レッスンと合同講義の回数は変更になる場合があります。

作品試演会

対象作品は、ヴァイオリンソロまたはピアノソロ、またはヴァイオリンとピアノのための作品（5分以内）。作品の楽譜は、アカデミー開講1ヶ月前までに提出してください。個人レッスンで、教授が楽譜を添削します。マスタークラス後半には、演奏家がレッスンに参加してリハーサルを行った後、作品試演会を行います。（曲全体ではなく抜粋部分の演奏になる場合があります）。優秀作品は、最終日の受講生コンサートにおいても演奏されます。

メシアン賞　最優秀作品を作曲した受講生には「メシアン賞」*として賞金10万円が授与されます。

※京都フランス音楽アカデミー実行委員会は、オリヴィエ・メシアン財団の許可を得てメシアン氏の名前を使用しています。

エリック・タンギー教授による現代音楽ワークショップ（受講料無料）

ヴィオラとハープを除く全クラスの受講生を対象に、エリック・タンギー教授の作品を演奏するワークショップを開催します。対象作品は、サイト（www.academie.ifjk.jp）にて発表します。1回2時間のワークショップをアカデミー期間中に2回行います。

※ワークショップのみの応募はできません。
※ワークショップの時間、回数は変更される場合があります。

サラベール賞　優秀な演奏をされた受講生には、サラベール出版より、「サラベール賞」として250ユーロ相当の賞金が授与されます。受賞者は、アカデミー最終日の受講生コンサートで演奏の機会が与えられます。

教授紹介 PROFESSEURS

声楽

ミレイユ・アルカンタラ
Mireille Alcantara
パリ・エコール・ノルマル音楽院教授

パリ国立高等音楽院にて、声楽、ソルフェージュ、オペラの1等賞を得て卒業。マリア・カナルス・バルセロナ国際音楽演奏コンクールで銀メダルを受賞するとともに、ラ・ロシェル現代音楽声楽コンクールの本選に出場する。その後、ライン・ドイツ・オペラのメンバーとして、6年間、ショスタコーヴィチ「鼻」、オアナ「フェードルのための音節譜」などの舞台に出演。また、ナント、ボルドー、トゥールーズ、アヴィニヨンなどフランスの多数の歌劇場にて、モーツァルト「フィガロの結婚」、グノー「ファウスト」、ロッシーニ「婚約手形」、プッチーニ「三面扉絵」、メノッティ「領事」などに出演した。ジャン＝クロード・カサドシュ、ウイリアム・クリスティら指揮者との共演多数。また、ニューヨーク・メトロポリタン歌劇場では「ペレアスとメリザンド」メリザンド役で出演（ジェームズ・レヴァイン指揮）。95年よりパリ国立高等音楽院教授を務めた後、現在、パリ・エコール・ノルマル音楽院教授。

ヴァイオリン

シルヴィー・ガゾー
Sylvie Gazeau
パリ国立高等音楽院教授

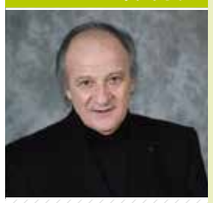
ニース地方音楽院で学んだ後、パリ国立高等音楽院で65年にヴァイオリンで、67年に室内楽でそれぞれ1等賞を受賞。同年のマリア・カナルス・バルセロナ国際音楽演奏コンクールと翌68年のカール・フレッシュ国際ヴァイオリン・コンクールで第2位。70年、インディアナ大学でヘンリク・シェリングとジョーゼフ・ギンゴールドに師事し、ギンゴールドのアシスタントとなる。79年、フランスでエネスコ賞の「年間優秀ヴァイオリニスト」に選出された。マールボロ音楽祭を始め各地の音楽祭に出演するほか、ロンドンのメロス・アンサンブルでの第1ヴァイオリンや、ピエール・ブーレーズのアンサンブル・アルテルコンタンポランではソロ・ヴァイオリン奏者を務めた。85年、パリ国立高等音楽院ヴァイオリン科教授に就任。98年より、同音楽院教育部門のヴァイオリン指導法教授。ヴァトロ・ランバル・ヴァイオリンコンクールでは芸術監督を務める。

ピアノ

ジョルジュ・プルーデルマッハー
Georges Pludermacher
ピアニスト

3歳でピアノを始め、11歳で入学したパリ国立高等音楽院ではリュセット・デカーヴ、ジャック・フェヴリエらに師事。ヴィアンナ・ダ・モッタ国際ピアノコンクールとリーズ国際ピアノコンクールで第2位、79年ゲザ・アンダ国際コンクール優勝。ソリストとしてゲオルク・ショルティはじめ多くの指揮者と共演する一方、ナタン・ミルシテインらとの共演により室内楽への愛着も深める。ドビュッシーのエチュードの演奏でル・モンド・ドゥ・ラ・ミュジーク誌賞、ディアパゾン誌賞、フランス・ディスク・アカデミー大賞を受賞した他、ベートーヴェンの「ディアベリ変奏曲」でシャルル・クロ・アカデミー大賞受賞。98年、4番目のペダル「ハーモニック・ペダル」を備えたピアノでベートーヴェンのピアノソナタ全曲をライヴ録音。最新録音は、自身の編曲によるピアノ・ソロ版のストラヴィンスキー「春の祭典」。13年、東京でベートーヴェンのピアノソナタ全曲演奏会を行う。元パリ国立高等音楽院教授。

ヴァイオリン



レジス・パスキエ
Régis Pasquier
ヴァイオリニスト

幼少時より音楽に触れた早熟の才能は、12歳にしてパリ国立高等音楽院のヴァイオリンと室内楽部門で1位を獲得。14歳で渡米し、アイザック・スターン、ダヴィット・オイストラフ、ピエール・フルニエ、ナディア・ブーランジェに出会う。その後、ジノ・フランチェスカッティと、バッハの「2つのヴァイオリンのための協奏曲」を録音。世界各国の名指揮者と共演し、国際的な評価を不動のものとする。近年の録音は、ベートーヴェンとチャイコフスキーの協奏曲集やバーンスタインのセレナーデ、ヴァイルのヴァイオリン協奏曲Op.12。若手育成にも力を注ぎ、85年から11年までパリ国立高等音楽院教授を務めた。室内楽では、ベヌティエ-パスキエ-ピドゥー　トリオによる演奏でラフマニノフのピアノ三重奏曲をリリースし、好評を博す。パガニーニのカプリース全曲をコンサートで演奏する数少ないヴァイオリニストの一人。使用楽器は1734年製グァルネリ・デル・ジュスの「クレモナ」である。

ピアノ

ピエール・レアク
Pierre Réach
パリ地方音楽院教授

標高2800メートルのピック・デュ・ミディ山頂にヘリコプターで運搬したピアノを用いた演奏会や、ピレネーピアノフェスティバルの設立など、各地で演奏活動や教育活動、様々な企画の開催に取り組む。オリヴィエ・メシアンコンクール第1位、自身が師事したルービンシュタインの名を冠したアルトゥール・ルービンシュタイン国際ピアノコンクール入賞、エットレ・ポッツォーリ国際ピアノ・コンクール第1位、マリア・カナルス国際コンクール第2位。現在、パリ地方音楽院およびカタルーニャ高等音楽院教授、上海音楽学院名誉教授。レコーディングでは、バッハ「ゴルトベルク変奏曲」や、その名がフランスで再発見されるきっかけとなったアルカン、ベルリオーズ「幻想交響曲」のリスト編曲版などで知られる。室内楽も好み、ジェラール・ブーレ、クリストフ・ヘンケルとはピアノ三重奏曲を録音。各国のマスタークラス教授の他、オリヴィエ・メシアン、モンツァ、ポッツォーリなど国際コンクールの審査員も務める。

ヴァイオリン

原田幸一郎
Koichiro Harada
桐朋学園大学教授

桐朋学園、ジュリアード音楽院で、宗倫安、鷲見三郎、斉藤秀雄、ポール・マカノヴィツキー、ドロシー・ディレー、イヴァン・ガラミアンの各氏に師事。69年、東京クァルテットを結成、12年間第1ヴァイオリンを務め、全世界で絶賛される。81年東京クァルテットを離れ、クリーヴランド音楽院、イェール大学院、アスペン音楽祭で教鞭をとるかたわら、数々の室内楽演奏会に出演し、高い評価を得る。83年から日本に居を移し、東京芸術大学助教授に就任するかたわら、室内楽の第一人者として幅広い活動を行う。東京ピアノ・トリオ、室内楽シリーズ"NADA（ナーダ）"、水戸クァルテット、ATMアンサンブルなど豊かな音楽性と柔軟性で、室内楽の魅力と新たな楽しみを伝え続けている。指揮活動にも意欲的に取り組み、読売日響、新日本フィル、水戸室内管、大阪フィル、札響、九響、京都市響などと共演。11年1月には小澤征爾の代役として水戸室内管を指揮。現在、桐朋学園大学教授、洗足学園大学院客員教授、東京音楽大学特任教授、韓国芸術大学客員教授。

募集要項

応募資格　13歳以上の音楽学生、演奏家。国籍不問。

指導内容　原則として12日間。各受講生は期間中5回の個人レッスン（1回約1時間）を受講。（作曲クラスは個人レッスン3回と合同講義2回およびリハーサル）。伴奏、通訳付き。受講生はどのクラスも聴講自由。作曲クラスのみ、一般の聴講生も募集。

費　用　入学金：10,000円　（ただし作曲クラス聴講生は5,000円）

授業料：140,000円

作曲クラス	80,000円
作曲クラス聴講生	20,000円
弦楽室内楽（カルテット・トリオ）	20,000円

※弦楽器クラスと弦楽室内楽クラス併願の場合、弦楽室内楽クラス授業料は10,000円

応募締切　2013年12月17日（火）（必着）

合格発表　2014年1月中旬頃に郵送にて本人に通知

会　場　アンスティチュ・フランセ関西、関西日仏交流会館 ヴィラ九条山 他

練習場所　期間中、希望者に斡旋（要予約）

宿泊施設

希望者には合格後、予約申し込み書をお送りします。

受講申込み

下記の資料を当事務局までご送付ください。

①受講申込書：音楽歴と受賞歴は、別紙（書式自由、A4サイズ以内）に記載して提出してもかまいません。

②音楽歴を補完する資料：音源、推薦状、プレス記事、コンサートのちらしなど

音源：15分以内の演奏を録音した音楽用CD。曲目自由（ただし声楽クラス希望の場合、モーツァルトのオペラのアリアから1曲と、自由曲1曲）。氏名・曲名を記入すること。再生が可能かどうか必ず確認してからお送りください。CD以外の音源は受け付けられません。その他の資料：A4サイズに収めること。

③作曲クラス希望の場合は、下記のうちいずれか1つまたは両方を提出すること。

・自作の楽譜（A4サイズ以内）とその音源
・作品試演会の対象となる作品の楽譜（A４サイズ以内）

④未成年者の場合は、保護者の氏名、住所、捺印、同行の有無を明記した書面を添付のこと。

※音源、楽譜、添付資料はお返ししません。 ※弦楽器クラスに限り、弦楽室内楽クラス（トリオ、カルテット）と併願可能です。 ※弦楽室内楽クラス（トリオ、カルテット）の受講を希望する方は、メンバーを各自揃えてお申込み下さい。 ※作曲クラスの聴講生は、受講申込書のみの送付で結構です。

送付先 ▸ 京都フランス音楽アカデミー実行委員会事務局
〒606-8301　京都市左京区吉田泉殿町8　アンスティチュ・フランセ関西

弦楽室内楽（トリオまたはカルテット）　4グループ　弦楽科の教授

ヴィオラ

ブルーノ・パスキエ
Bruno Pasquier
パリ国立高等音楽院教授

43年生まれ。61年にパリ国立高等音楽院で1等賞を獲得。65年ミュンヘンの弦楽四重奏国際コンクールで優勝。65年～85年、パリ・オペラ座管弦楽団の首席ヴィオラ奏者、85年～90年、フランス国立管弦楽団の首席ヴィオラ奏者。豊かで美しく力強い音色によって、世界で最も才能あるヴィオラ奏者のひとりと評せられている。ヴァイオリンのレジス・パスキエ（弟）とチェロのロラン・ピドゥーとともに弦楽三重奏団を結成。レコード録音では、76年にディスク大賞、77年にフランス・ディスク・アカデミー大賞など多数の賞を受賞。様々な制作にも携わり、08年、ラジオ・フランスにて映画「青いパパイヤの香り」や「夏至」の音楽を担当したトン＝ツァ・ティエのヴィオラ・コンチェルトを演奏。数々の国際アカデミーでも教えており、72年よりパリ国立高等音楽院にて教鞭をとる。レジオン・ドヌール勲章シュヴァリエ章、芸術文化勲章オフィシエ章受章。

クラリネット

フローラン・エオー
Florent Héau
パリ地方音楽院教授

優れたフランス流派クラリネット奏者の1人として、輝かしい伝統を世界中に伝えるべく演奏活動および教育活動を行っている。パリ国立高等音楽院でミシェル・アリニョンのもとで学び、数々の国際的なコンクールで第1位を獲得。室内楽にはとりわけ精力的に取り組み、ルノー・カピュソン、ジェラール・コセ、アンリ・ドゥマルケット、アンヌ・ガスティネル、ミシェル・ベロフらと共演するほか、ソリストとしては、ヨーロピアン・カメラータ、パリ室内管弦楽団、ブルターニュ管弦楽団、ポーランド放送室内合奏団、プラハ室内管弦楽団等と共演。また、ティエリー・エスケシュやフィリップ・エルサンら現代音楽の作品も初演している。パリ国立高等音楽院でミシェル・アリニョンのアシスタント教授を務めた後、現在はパリ地方音楽院教授として後進の指導を行う。その指導力が評価され、ヨーロッパ各国やラテンアメリカ、アジアのマスタークラスに定期的に招聘されている。

チェロ

フィリップ・ミュレール
Philippe Muller
パリ国立高等音楽院教授

46年生まれ。パリ国立高等音楽院でアンドレ・ナヴァラに師事し、67年チェロと室内楽で1等賞を獲得したのち、ポール・トルトリエ、ムスティスラフ・ロストロポーヴィッチといった偉大な演奏家たちの下で研鑽を積む。ジャン＝ジャック・カントロフ（ヴァイオリン）、ジャック・ルヴィエ（ピアノ）と共に70年に結成した室内楽トリオは世界的に高い評価を得ている。現代音楽にも深い関心を抱き、アンサンブル・アンテルコンタンポランに参加。また、ヴィヴァルディ、バッハ、ベートーヴェン、ブラームスから、フォーレ、ラヴェル、マルティヌーにいたるまで、多くの作曲家の作品を録音している。79年より恩師ナヴァラの後を継いで、パリ国立高等音楽院チェロ科の教授を務め、これまで数多くの優秀な音楽家を輩出。その中にはすばらしい成功を収めているものも大勢いる。今回、教授陣のなかで最多の22回目の参加となる。

ハープ

イザベル・ペラン
Isabelle Perrin
パリ・エコール・ノルマル音楽院教授

フランス国立管弦楽団でソリストとして活動するほか、ヨーロッパ、アジア（中国、韓国、日本、シンガポール、台湾）、ロシア、北米（アメリカ、カナダ）、南米（ブラジル、メキシコ）、オーストラリアなど各国で定期的に演奏活動を行っている。また、レコーディングにも熱心で、ベルナール・アンドレやピエリック・ウーディ（ローマ賞受賞作曲家）、アーノルド・バックス、フランソワ・アドリアン・ボワエルデュー（古楽器での世界初録音）の作品や、フランス音楽の名曲多数を録音している。最新録音はJ.S.バッハ、C.P.E.バッハの作品。現在、パリ・エコール・ノルマル音楽院教授および英国王立音楽院客員教授を務めるほか、世界各国のマスタークラスでも指導を行っている。これまでの経歴と音楽活動における功績が認められ、フランス文化・通信省より芸術文化勲章シュヴァリエを受章。世界ハープ会議（WHC）芸術監督。

フルート

ジャン・フェランディス
Jean Ferrandis
パリ・エコール・ノルマル音楽院教授

モーツァルトのフルート協奏曲K314を演奏した際、アダージョを聞いたバーンスタインに「彼はまさにパン（牧神）である！」と言わしめるほど称賛を得たフルーティスト。リヨン国立音楽院のマクサンス・ラリューのクラスで満場一致の1等賞を得て卒業後、プラハの春国際音楽コンクールでのグランプリなど、国際コンクールでの入賞多数。その後、シャンゼリゼ劇場（パリ）、アリス・タリー・ホール（ニューヨーク）、浜離宮朝日ホール（東京）、ウィグモア・ホール（ロンドン）、モスクワ音楽院、フェニーチェ劇場（ウイーン）など、各国のホールでリサイタルを行う。オネゲル、モーツァルト、シューベルト、C.P.E.バッハや上林裕子の作品をこれまでに録音している。コンサート活動と同時に指揮者としての活動や教育活動にも熱心で、現在、パリ・エコール・ノルマル音楽院とカリフォルニア州立大学フラトン校にて教鞭を取る。アジア、ヨーロッパ、オーストラリア、アメリカでは定期的にマスタークラスでの指導も行う。

作曲

エリック・タンギー
Éric Tanguy
作曲家

68年生まれ。ホラチウ・ラドゥレスクのもとで学んだ後、91年までパリ国立高等音楽院にてイヴォ・マレクおよびジェラール・グリゼーに師事し、作曲科1等賞を獲得。93年、ローマのフランスアカデミーに滞在。アメリカのタングルウッド音楽センターではアンリ・デュティユーから特別招待される。01年、「チェロ協奏曲第2番」をムスティスラフ・ロストロポーヴィチが初演。続いて同作品をカーネギーホールでボストン交響楽団が演奏（小澤征爾指揮）。アンドレ・カプレ賞、エルヴェ・デュガルダン賞、ヴィクトワール・ドゥ・ラ・ミュージック・クラシックなど受賞歴多数。04年、フランス芸術文化勲章シュヴァリエ受章。現在、フランス内外で最も多く作品が演奏されている現代作曲家の1人。14年1月、新作交響曲がパリ管弦楽団（パーヴォ・ヤルヴィ指揮）により初演されるほか、3月には日本で、諏訪内晶子と江口玲がヴァイオリンとピアノのための新作を初演予定。パリ12区立音楽院の他、各国での指導も精力的に行っている。